

## 新しい時代にあった同窓会!

### ●またまた新たな動きが始まりました!

24日の日曜日午後から浦高同窓会では、常任理事の皆さんが集まり、「浦高 120 周年記念事業準備委員会」(委員長: 岩淵 均・同窓会副会長、委員 9 名)と「同窓会のあり方検討委員会」(委員長: 野辺 博・同窓会副会長、委員 17 名)の第 1 回会議が開催されました。二つの委員会は、川野幸夫・同窓会会長の今期(平成 26~27 年度)目標の一つであり、これから来年の総会(5 月開催)に向けて熱い検討・議論が続けられますが、私も常任理事(3 年目)の一人として二つの委員会に出席させていただきます。

\* \*

### ◆浦高 120 周年記念事業検討委員会

この委員会は、母校・浦高の前身の浦中が創立されて来年が 120 周年を迎えるにあたり、同窓会として記念事業を企画し、滞りなく実施するための委員会です。これまでの周年では、90 周年で同窓会の寄付等により「麗和会館(1 階食堂と 2 階会議室・資料展示室)の建設」、100 周年では「100 年誌『銀杏樹』の発行」など、110 周年では「百年の森スタート」と 10 年毎にさまざまな事業を行ってきました。

今回の 120 周年事業(案)としては

- ① 昨年からの事業が進められている「公益法人・県立浦和高等学校同窓会奨学財団」の永続的な事業化
  - ② 同窓会が持つ「知的財産(浦中・浦高が 120 年間にわたり蓄積してきた記録・資料等財産)」の体系的な保存・展示のリニューアル
- ということになりました。

\* \*

### ◆同窓会のあり方検討委員会

この委員会は、浦高同窓会が「母校と連絡を緊密にし、会員相互の親睦と福利を図ることを目的とする」という会則を超えて、百年の森事業や奨学財団事業という大きな事業に取り組み、母校のプレゼンス(存在感)が上がることも同窓会のあり方も変わってきているという川野会長の考えのもと、時代にあった同窓会を考える委員会です。

当面は、同窓会役員(会長、副会長、常任理事、理事、監事、幹事、各回委員、事務局長)の専任方法などについて議論し、場合によっては会則の変更等を話し合っていくことになりました。

\* \*

二つの委員会に出席された川野会長からは、「来年は浦中が創立されてから 120 周年にあたり、浦高でも記念式典等が計画されていますが、同窓会としても 120 周年記念事業を計画していただきたいと考えています。既に、昨年度から奨学財団が創設され事業も進められていますので、この事業を多くの人たちに周知するとともに、永続的な事業とし

て拡大するためのアピールを行いたいと思います。また、知的財産委員会に進めていただいている展示室の再整備を含めた知的財産の体系的な保存・展示のリニューアルをできればと考えています。120 周年記念事業検討委員会ではその辺りを検討していただきたい。」(浦高 120 周年記念事業検討委員会)

「今年と同窓会長改選では、常任理事の間から前例踏襲ではない形を求める声があり、現在の会則や規約が必ずしも十分でないことに気づきました。またここ数年、24 の地域職域同窓会が活発に活動しており、同窓会組織全体も変わりつつあります。

それから、同窓会が奨学財団を設立したことに伴って、さまざまな県の高校同窓会からの問い合わせや視察も増えており、浦高のプレゼンスが高まるとともに同窓会の注目度も高まっています。

そこで、新しい時代にあった同窓会とするために、同窓会のあり方について協議・検討し、必要であれば規約の制定や会則の変更(案)を作成していきたい。同窓会のあり方検討委員会ではその辺りを検討していただきたい。」(同窓会のあり方検討委員会)

\* \*

浦高同窓会の転換期に当たって、こうした検討・協議の場に参加させていただける幸せに感謝します。110 周年記念事業の「百年の森」もしっかりと育ち、今年には浦高祭の中で展示会が予定されています。

\* \*

### ◆浦高百年の森展示会

来たる 9 月 13 日(土)、14 日(日)の浦高文化祭において、同窓会メンバーが集まれる場所として、



麗和会館 2 階にて「浦高百年の森展示会」を開催します。懐かしいお顔をお見せ頂き、万障繰り合わせの上、ご参集ください。

【浦高百年の森】平成 17 年に寄居町風布の私有林約 5ha を借り受け、卒業生と在校生が世代を超え、地元の協力を得ながら、

森づくり活動「浦高百年の森」を行っています。

【記事: <http://urako-tama.com/>】

\* \*

同窓会本部が少しずつ変わろうとする中で、私たち春日部地区浦高会も新しい地域貢献策を…!